

■ 議題

今回の審議委員会は、9月17日（木）放送の市政情報番組『市役所からこんにちは』の中の「高山インフォ」のコーナー内で、ヒッツFMに職場体験学習に来ていた市立中山中学校の生徒2名に職場体験学習の体験談などを話していただいた回と、10月8日（木）放送の新コーナー『ミナヴィータのラジオ食堂（※）』（第1回目）を聴いて審議に入りました。

※ 高山市内にあるイタリアンレストラン「ミナヴィータ」のオーナーシェフ 南さんと、ともみナビゲーターが、飛騨の食材・旬の食材などを使ったレシピなどを分かりやすく紹介するコーナー！

■ 審議内容

会社側： 審議に入る前に、前回の審議会での意見に対しての回答、報告、今後の放送予定、聴取していただいた番組の補足などを説明しました。

大萱委員長： 只今聴いていただきましたが、皆様にはご意見を頂戴したいので、順次お願いします。

後藤委員： 高山警察署の後藤です。中学生の職場体験をインタビューしていましたが、高山警察署もこの前、職場体験に来て頂いたので、警察署の職場体験も取り上げてもらいたいと思います。昨年、高山警察署の情報コーナーの「高山警察署だより」で小学生や幼稚園・保育園児に対して職場体験や職場見学について紹介したところ、この年は大変多く体験や見学に来て頂きました。ラジオでの効果は非常に大きいと思いましたので、ぜひ取り上げて欲しいです。

「高山警察署だより」や前回の審議委員会の時にも意見としてありましたが、飲酒運転の事故などが年間を通じて多いです。特に、高山祭の時期やどぶろく祭り、年末・年始にお酒を飲む機会が多くなるので、放送で呼びかけて欲しいです。ヒッツFMを聴いている市民が多いので、高山警察署としては活用したいと思います。

また、交通安全、振り込め詐欺などについても、放送で呼びかけて欲しいです。それと、以前「警察官募集」の件を「警察署だより」で紹介しましたがとても助かりました。今後も「警察署だより」の収録、放送をお願いしたいです。

大萱委員長：今回、たまたま中山中学校の生徒が、ヒッツFMで職場体験をしていて放送に出演していましたが、いろいろな所で職場体験をしているので、ナビゲーターがインタビューに出かけたら良いのではないのでしょうか？

会社側：今回はヒッツFMで職場体験している生徒が、幼稚園で職場体験している生徒にインタビューして、その様子を放送しました。あらかじめ職場体験する企業などのリストは学校側から頂いており、何名ぐらい職場体験に行くのかを把握し確認した上で、今回は生徒がインタビューに行きたいと希望した場所が幼稚園でしたので、行ってきました。

大萱委員長：録音になっても良いので、たくさんの職場体験しているところをインタビューし、放送してもらおうと楽しいかと思いました。次の方をお願いします。

土屋委員：職場体験ですが、今回は、中山中学校の生徒さんの放送でしたが、松倉中学校の生徒さんは放送していないのですか？

会社側：松倉中学校の生徒は、スタジオで生インタビューをしました。

土屋委員：聴いていて、生徒さんにとって良い体験だったと思います。今後も続けていけば楽しいと思います。我々の事務所も職場体験を行っていたので、取材で取り上げて欲しいです。

「ミナヴィータのラジオ食堂」については、始まったばかりで定まっていない感じを受けました。もう少し具体的なレシピなどが出てきても良かったと思います。食材も取り入れるなら、生産者の声を紹介するとかすれば良いと思いました。

大萱委員長：ミナヴィータさんのコーナーはこれから楽しみですね。いろいろな市民の方にご出演してもらうのは良い事だと思います。

会社側：「ミナヴィータのラジオ食堂」については、最初は、スタジオでの収録が多いかと思いますが、今後は、生産者の方にこちらから出向いてインタビューしたいと、企画の中では考えておりました。どのタイミングで行くかは、このコーナーが落ち着いてからになるかと思います。生産者の方にお話を聞くとか、実際に厨房でレシピに沿って料理をするとか考えて行きたいと思っています。

大萱委員長：この回の際はレシピがあったのですか？

会社側： トマトを使った料理を持って来ていただいたことがありました。

大萱委員長： レシピということになると、ラジオで説明するのは大変難しい事だと思いました。

会社側： 確かに「画」では見せられないので難しいところですが、将来的に「ミナヴィータ」さんのブログか、ヒッツFMのホームページ、ツイッターなどに料理の写真をアップしていきたいと考えております。

大萱委員長： そうですか！わかりました。次の方お願いします。

元田委員： 職場体験についてですが、私たちの職場にも中学生に職場体験に来て頂きましたが、このような実体験に基づいた事ができて羨ましいと思います。私たちは金融機関なので仕事を体験して頂く事が少なく、あってもちょっとした事務仕事や見学程度です。

3日間という短い期間に、中学生の方がインタビューしたり、番組に主演したりして、とても大変だなと思いました。家族の方も喜んで聴くと思うし、できるだけそういった番組に出演したりすれば、ラジオを聴く方も増えると思います。

ミナヴィータのラジオについては、レシピとかは興味があるので、食べる物の食材とかはいろいろ聞きたいところだと思います。確かに、ラジオで最初からレシピの説明するのは見えないので難しい事だと思いますが、先ほどの説明のように進んでいくといいと思います。

ひとつ気になった事が、イタリアンレストランのシェフですので、バックに流れている音楽が明るい曲を選んだのだと思いますが、少しBGMの音量が大きいのではないかと…。聴きづらかったので、少し音量を下げた放送して欲しいと思いました。

コーナー自体は、地元の方が出演しているし、企画もいろいろするという事で、難しい反面、面白い事もあると思います。続けていけば楽しくなっていくのではないのでしょうか。

大萱委員長： ありがとうございます。BGMにつきましては、他の番組でもあるので気をつけて下さい。

田中委員： 職場体験で中学生が出演したことについては、とても面白いと思いました。今回はあえてゲストのような形で出演していたけれど、中学生・高校生が、自分たちで番組を作っていくような企画があると良いと思いました。聴きやすい、聴き難いかは別として、内容として、中高生が持っている感性で面白いものが作れるのではないのでしょうか。

ラジオ食堂は「食」に関する内容は、男女、年齢問わず興味があるので、今後、どのような方向になるのかわからないですが、どんどんリスナーに広げて欲しいと思います。

試聴した以外の事では、2時間、3時間のラジオ番組があつて、その中にフリートークの時間がありますが、話の内容が重要な事でないのに繰り返し紹介したり、同じ内容ばかりを紹介している気がします。話す内容を事前に準備しておくのもなかなか大変な事かと思いますが、同じネタが繰り返えされないような放送が出来ると良いのではないのでしょうか。

大萱委員長：ありがとうございます。随分前に話として出たのですが、中学校には放送委員会がありますが、現在、市内の中学・高校には放送部ってあるのですか？

会社側：放送部はないと思いますが、私の子どもが通っている中学校では、自己表現をする時間が作られているみたいで、普通の5教科の勉強以外でもダンスをしたりとか、コントをしたりするとかがあるみたいです。そういう中の1つとして、例えば「声」で表現をしたりするようなことがあれば、手を挙げてくれるかはわかりませんが、「ラジオで15分程度の番組をやってみませんか」と学校に提案したい考えです。

大萱委員長：ぜひやってもらって、ヒッツFMのファンをいっぱい作って欲しいと思います。

会社側：中学生・高校生はラジオ離れをしているので、若い人にラジオの良さを知ってもらいたいです。

大萱委員長：大変かとは思いますが、せっかく今、中学生がラジオで喋る機会があつたので、ぜひ実現して頂きたいです。
次の方、お願いします。

溝上委員：職場体験については皆さんと同じ意見で、良い企画だと思いました。生徒の皆さんも実際に別の場所に移動してインタビューしたりして、とても良い経験ができたのではないかと思います。
1点だけ気になったところは、最初の出だしを聞き逃した方が、中山中学校の生徒さんが幼稚園に行つてインタビューをし、スタジオへ戻つてきてその子たちが出演して、インタビューの様子を流していたけど「いったいこの子たちは誰なのだろう」って思ったので、スタジオへ戻つてきた時に「職場体験でやってもらいました」などと言うコメントがあつても良かったと思います。

ミナヴィータのコーナーも、良い企画だと思いましたが、ナビゲーターの方が料理を紹介してくれるのもいいけど、シェフが説明してもらえると、また違った視点で説明してくれるので、みんなが聴いてもらえるのではないかと。始めたばかりなので、これからどんどん詰めていって欲しいし、もっともっといい番組にして欲しいと思います。

大萱委員長：ありがとうございます。途中からラジオを聴いた方へのフォローに関してはぜひお願いします。僕の亡くなった親父が音楽好きで、ヒッツFMから流れてくる音楽を聴いている時に「最初から聴いていないと曲名がわからない」と言っていて、曲が終わった後も曲名を言って欲しいと思いました。ですので、人の紹介の時も聴いているのが当たり前の方であれば、途中から聴いている方もいるので、聴いていない方もいるということを前提に、話をして欲しいと思います。もちろん尺があるので難しい事とは思いますが、よろしくお願いします。
次の方をお願いします。

原委員：私は今試聴した職場体験を、家のラジオで聴いていたのですが、職場体験は毎年1回ですがやっている事だし、とても良いと思いました。実際に経験する事は、子供たちにとってラジオに関心を持ってもらうきっかけになると思います。年に1度ではなく30分くらいのコーナーを作って番組をやってもらい、やってみると子供が関心を持って、ヒッツFMを聴いてみたくなるのではないかと思います。
また、このあと中学を卒業して高校生になって、大学へ行って他の地域に行ってしまう事があったりするけれど、長い目で見たときにそういうことをやり続けていけば、地元（高山）にまた帰ってきた時に、ヒッツFMに興味湧き、ヒッツFMで喋りたい方が増えるのではないかと思います。子どもたちを地元に残す為（地域活性の為）にも、そうゆう事をした方が良いと思います。
教育委員会などに話をして、職場体験だけではなく、希望者を市内の中学校から集めてラジオの番組を体験させるのも良いのではないのでしょうか。こちらから積極的に提案していくべきだと思います。

大萱委員長：ありがとうございます。普段の放送のことで意見などありませんか？
事故などで道路が通行止めになる情報は、早めに放送していますか？

会社側：大丈夫です。放送しております。

大萱委員長：今日は辻井彩ナビゲーターも出席しているので自分の担当している番組についてなど一言お願いします。

辻井ナビ： ナビゲーターの辻井彩です。よろしくお願いします。私の担当番組ですが月曜日から水曜日の午前9時から12時の番組と、木曜日の夜8時から9時までの番組を担当しております。午前中はインフォメーション中心にその時の季節やテーマ、「今日は何の日」にちなんだネタと音楽を選んでいます。

また、月曜日は隔週ですが「彩山荘アルプス散歩」というコーナーをやっています。こちらは登山など「山」好きの方にゲスト出演して頂き、山の魅力について語って頂くコーナーです。

火曜日は毎週10時30分から「高山一期一会」というコーナーをしています。こちらは、高山を訪れる外国人に日本の魅力・山の魅力をインタビューしていくコーナーです。

水曜日は毎週10時30分から「てくてく TAKAYAMA graffiti」というコーナーで、毎回、様々な方にゲスト出演頂いて、イベント情報、その他の情報を紹介して頂いております。

夜の時間は、多彩なジャンルの音楽を日替わりでお届けしていますが、木曜日の私の時間では、地元で音楽活動をしている方と一緒に、ソウル・ファンクなどの音楽を中心に紹介しています。その方とトークはもちろんですが、楽器を弾いて頂いたり、何人かで集まってセッションをしたりしています。

私はいろんな方にゲスト出演して頂きたい思いがありまして、山のコーナーにしても、その他のコーナーにしても、いろんな方にいろいろなお話を聞く事を心がけながら番組を進めています。まだまだ未熟ですが、温かく見守って頂ければと思っております。

大萱委員長： ありがとうございます。今の話を聞いて「頑張っているな」という印象を受けました。

僕は、外国人にインタビューするコーナーをとっても楽しみにしています。確か、山のコーナーを始めた時に声をかけてもらって「山の事故が多くて…」なんて話をしていたのだよね。今後も山のコーナーでは、楽しい話題ばかりではなく、山の厳しさやなどの話も是非して頂きたいと思います。また、高山警察署の登山のスペシャリストがいるので、取材などして頂ければと思います。

辻井ナビ： 訓練の様子とかも取材したいと思います。ぜひお願いします。

後藤委員： 是非、お願いします。

大萱委員長： これからの時期ですよ？冬山登山は？

後藤委員： そうです。雪山、冬山登山ありますので、それぞれのシーズン毎に取材をして頂けるとありがたいです。

辻井ナビ： そうゆう面でも（登山で）危険な目にあっただけの方にお話頂いたり、山岳救助隊の方にご出演してもらいお話を伺ったりしていますので、高山警察署の方にも是非ご出演をお願いします。

大萱委員長： ぜひ、直接伺って取材をして頂きたいと思います。

辻井ナビ： わかりました。よろしくお願いします。

大萱委員長： 他に何かありませんか？今の事でも大丈夫ですし、何なりとお願いします。
年末に向けていろいろな事がありますが、企画とかは今まで通りなのですか？

会社側： そうです。今年も同じ内容です。

大萱委員長： 年末、商店街は何か特別な事をやりますか？従来通りですか？商店街の事についても紹介をお願いします。

会社側： 商店街の情報は、商店街の情報を紹介している亀山陽子ナビゲーターが取り上げていきます。これから年末にかけて幾つかイベントがありますが、ネタがなくなってきましたので、今後、商店街の方と相談させていただきます。

大萱委員長： よろしくをお願いします。金融機関さんは年末・年始どうなのですか？

元田委員： 防犯ですね。やはり。いつも以上に気をつけています。

大萱委員長： 是非、防犯についても「安心安全なまちづくり」を放送で呼びかけて頂きたいと思います。あとは、雪道ですね。情報を引き続きお願いします。

原委員： 前に話をした事があったのですが、今、高山も地域が広がって、市街地と他の地域では季節感が違うと思います。だから、同じ方で良いので直接、一般の方に電話して「今、そちらの地域はどんな様子ですか」など、どのような事でもいいので、定期的に電話インタビュー形式で話を聞いてみるのも面白いのではないかと思います。毎回、同じ方なら慣れてく

と思うし、違う方だと、また違う情報になることもあると思います。同じ方が電話インタビューでエピソードなどを話してもらったり、例えば、今だったら現在の紅葉の見頃情報などを聞いたりするとかすれば面白いと思います。

大萱委員長：そうですね。地域によっては気温とかも違う所がありますよね。荘川町なんかは、本州の中でも1番寒い地域でもありますし…。

会社側：お願いするとすれば、観光協会関係という事になるのではないかと思います。現在は月に1回、奥飛騨地域の観光協会の方と電話インタビューをして、現在の様子やイベント情報を放送しております。しかしその他の地域はごく稀にしか電話インタビューをしていないので、今後考えていきたいと思います。

大萱委員長：是非お願いします。今の状況がわかるという事ですよね。その方が目で見て、確かにその人の主観が入るのかもしれませんが、それはそれで良いと思います。

原委員：そうするとラジオ聞いて「画」が浮んでくると思います。自分の住んでいる所は紅葉がまだ始まっていないけど、他の地域は紅葉が始まっているとか想像できるのではないかと思います。

大萱委員長：ありがとうございます。是非、今後の参考にしていただければと思います。よろしくお願いします。他にありませんか？なければこれにて終わります。

会社側：本日は貴重なご意見、どうもありがとうございました。頂きましたご意見は番組に反映できるよう努力して参ります。次回の審議委員会もよろしくお願いします。ありがとうございました。

■ 審議機関の答申又は、意見の概要を公表した場合における公表内容、方法年月日

10月20日 番組審議委員会の席上で説明

■ その他の参考事項

次回開催日 平成28年1月下旬

開催場所 飛騨地域地場産業振興センター（予定）